文星芸大附 now!

文星芸術大学附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話（028）
636-8000（中学直通）
636-8585（高校直通）
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行 教務部・学報編集係

卒業生の大いなる活躍を讃えて

文星芸術大学附属中学・高等学校長　**上野憲示**

厳しい冬の寒さも和らぎ、いよいよ春の訪れを感じる季節となった。今年度は、「文星」の名が全国から注目された一年だった。二年連続での夏の甲子園出場、佐藤投手の横浜ベイスターズからのドラフト指名、弓田選手のハンマー投げ三冠達成が喧伝され、生徒一人ひとりが「文星」の生徒としての誇りと喜びを強く感じたことと思う。

三年生においては、十一月の合同面接会の時点で、内定率は前年度を大幅に上回る87・2％という過去最高の結果を示し、十二月には志望者全員の内定が決まった。また、専門学校、短大、四年制大学志望者の入試の状況も順調に推移し、難関大学を含め、次々に合格者が輩出されている。合格を勝ち得た生徒諸君は、今後も自己実現に向けて大いに奮起することを期待する。

二年生においては、学年最大の行事である修学旅行が無事に終了した。今年度初めて取り入れたハワイコースは好評で、沖縄コースとともに高い参加率で実施できたことは喜ばしい限りである。一回り大きく成長した生徒達は、楽しい思い出を心の支えとして、今後の学校生活を送ってくれるものと期待している。これからは最上級生として準備期間に入る。さらに実力をつけ、それぞれ希望に応じた進路の決定に向けて、精進していってもらいたい。

一年生は、二年次のコースを決定する時期となった。入学時に希望したコースへ進めるだけの成果を上げているかを踏まえ、希望する進路との関連性を充分に検討し、コースの説明会や担任との面談等を通して、自分に合った適切なコースを選択して欲しい。

文星芸大附now!は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発刊されました。

生徒全員で作り上げた学校祭「雄飛祭」は、天候に恵まれ、また、御協力いただいたPTA役員の方々のお陰もあり、大いに盛り上がりを見せた。この場を借りて深く感謝を申し上げたい。また、秀文杯体育大会では、楽しくも見応えある競技が繰りひろげられ、十三回忌を迎えた前校長に若者の躍動を届けられたと感無量であった。

平成二十年の新春は、一月十、十一日に前期入学試験が実施され、子年にふさわしく忙しい幕開けとなった。続いて、二月四日には後期試験も終了し、総括すると、前年度を上回る多数の受験者を得ることができた。文星ブランドの高揚が実を結んだ結果であり、学校として喜びに堪えない。

来年度は、いよいよ本校の附属中学を卒業した生徒が高校に進学する。中学校に引き続き、教職員が力を合わせ丁寧に指導していきたい。中学生諸君も新たな気持ちで充実した高校生活を送ってもらいたい。

本年度の締め括りと次年度の準備を並行して進める重要な時期を迎えるが、今後も引き続き全職員で力を合わせて乗り切っていきたい。生徒諸君も、これからの飛躍のために地に足をつけて踏ん張り、腹に力を入れて歯を食いしばりながら、この時期を大切に過ごしてほしい。一人ひとりが「三敬」の教えを守り、何事にも自信を持って「ライオン主義」で取り組んでくれることを強く願っている。

1p　<学校長より>
2・3p　<卒業生特集(高校)>
4p　<輝け！文星健児>
5p　<卒業にあたって(中学校)>
6p　<各賞・表彰者・新生徒会発足>
7p　<スキー教室・立志式他>
8p　<学校行事から>

中学校行事予定

▽三月
- 4日(火)～6日(木)　学年末考査
- 7日(金)　実用数学技能検定(一・二年生)
- 18日(火)　三年生修業式(卒業式予行)
- 19日(水)　第一回卒業証書授与式
- 22日(土)　新入生オリエンテーション
- 24日(月)　一・二年生修業式
- 25日(火)～4月7日(月)　春季特別教育活動期間

▽四月
- 4日(金)　在校生登校日
- 7日(月)　中学校入学式
- 8日(火)　第一学期始業式

高校行事予定

▽三月
- 1日(土)　第六十回卒業証書授与式
- 3日(月)～6日(木)　進級試験
- 7日(金)　身体計測・個人写真撮影
- 10日(月)・11日(火)　追試験
- 14日(金)　第一回新入生オリエンテーション
- 22日(土)　第二回新入生・保護者オリエンテーション
- 24日(月)　一・二年生修業式
- 25日(火)～4月7日(月)　春季特別教育活動期間
- 25日(火)　第一回在校生登校日（教科書購入）

▽四月
- 4日(金)　第二回在校生登校日（クラス・学級担任発表）
- 7日(月)　高等学校入学式
- 8日(火)　第一学期始業式

送る詞

「卒業おめでとう」

三学年主任
岩泉徳栄

三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。高等学校の教育課程を終えて、三年間のさまざまなことを思い出し感激を新たにしていることと思います。

学年主任として充実した一年間を皆さんとともに過ごせたことを感謝いたします。まさに「光陰矢の如し」の心境です。今は、三百四十四名の卒業生を無事に送り出すことができた安心感でいっぱいです。

皆さんには、これから出会う人を大切にし、人に対して感謝する気持ちを持って欲しいと願っています。また、生涯努力することの大切さを忘れずに継続してください。なぜならば、努力の継続こそが才能であるからです。将来皆さんの才能を発揮して、社会で活躍し、貢献できる大人になることを期待しています。

最後に、卒業後は皆さん一人ひとりの目標（目的）に向かって進んで欲しいと思います。そのためには、今後主体的に学ぶことが必要となります。陰ながら応援しています。がんばってください。

「可能性は無限大!!」

進学指導部長
大越研介

三年生の皆さん卒業おめでとう。

そして、その中でも進学する生徒に一言はなむけの言葉を。

君たちはこれから、ある者は専門学校や産技校へ、ある者は短大へ、そして、ある者は大学へ進学するわけだが、題に示したとおり、君達の可能性は無限大である。

まず、専門学校や産技校に進む生徒は、高校の授業と異なり、自分達の将来の職業に直結する授業のみを行う。言いかえれば自分達の好きな事だけを学んでいくわけで、大変やり甲斐のある、そして心底のめりこむことのできる授業が展開される。考えただけでもぞくぞくドキドキしてくる未来が開けているのである。

短大に進学する者は先ほどの専門学校と似た所があり、やはり職業に結びつく授業が満載である。ただそれだけでなく、大学の雰囲気も味わうことができ、いわゆるキャンパスライフも楽しめる時間と空間の中に身をおけるのである。ある意味、大変贅沢な感覚を体験できる場であると言える。

最後に大学へ進学する生徒のキーワードは「自由」である。まず、どの講義を選択するか、教職はとるのか、どの資格を取得するのかは全て自分の裁量に任されている。さらに、講義以外の時間は全く自由なのである。バイト、友人、趣味、彼女等々、何に時間を費やそうと誰も文句は言わない。自由なのである。しかし、四年間は長いようで短いので、時間の使い方を間違えずに、自分の可能性を追求してもらいたい。

さて、道はそれぞれ違っても、自分の限りない将来に向かって進むための第一歩である。決して無駄には使わないでほしい。いつか十年後か二十年後、ある日、街の中で君たちに会いたい。そして聞いてみたい。「良い人生かい」と。

「一年を振り返って」

就職指導部長
湊谷浩司

今年は、就職を希望する生徒全員の行先が決まり、ひと段落したのは十二月上旬である。例年では数名残っていても不思議ではない時期であるが、世間で言う団塊の世代の退職時期でもあり、早い時期から企業の方が来校するなど、一時期の就職氷河期から一転して採用氷河期とも言われた年であった。また、それゆえに求人件数は増え、生徒たちは幅広い選択視野のもと就職活動が出来たと思う。そんな中就職シーズンを迎え、各社より採用試験の結果を受けると、世間が言うほど楽観できる内容ではなく、就職試験の厳しさが身にしみた生徒も少なからずいた。幸い今年に限っては、二次募集ということで多くの大手企業より求人票が出され、おのずと中堅・中小企業からの求人票も増え、生徒にはここでも追い風が吹き、納得した企業選びが出来たように思えた。

私が生徒の前でよく言う言葉が『石の上にも三年』である。社会人にまず必要とされるのは忍耐力であり、是非若い時に身につけて、社会を生き抜く力を養って欲しい。就職内定を決めた皆さんはその時の喜びをいつまでも忘れず、またこれからは文星OBとして活躍することを期待する。

平成十九年度　第三学年
～クラス担任より～

《一組　雪野　賢》
卒業おめでとう。いつまでも好奇心旺盛な輝いている人物になってください。

《二組　竹内　昭夫》
小さくても良いから本物のプライドを胸に秘めて生き抜いてください。

《三組　梶川　崇》
卒業おめでとう！
学校を巣立っても、君たちの活躍を見守っています。

《四組&十一組　長谷川　聡》
人の気持ちは心が決める。心を鍛え、自分に負けない強く優しい人間に!!

《五組　馬場　義浩》
Now or Never
〝やるなら
今しかねぇ〟
Good luck to you!

《（副）坂巻　敦志》
夢は叶えるために、己はそのためにある。努力を重ね、充実した人生を。

《六組　中田　裕市》
恐れず信じた道を行け！その途中の失敗や挫折は自分にしかない財産です。

《七組　畠田　和明》
高校生活で得た様々な経験を糧に、より素晴らしい未来を築いてください。

《（副）石渡　佑一郎》
家族、親友、健康、自分らしさを大切に、より良い人生を歩んでください。

《八組　阿部　克美》
花は色、そして香り。人は心、そして思いやり。
素晴らしい人生を。

《九組　関塚　貴光》
全力に悔いなし。君たちのこれからに期待しています。頑張ってください。

《十組　高木　肇》
禁止→欠勤、朝寝坊、遅刻、早退。奨励→日々精進、体調管理。

《（副）渡辺　誠》
親に感謝。親孝行しようね。ハレー彗星見るまでは…。

《十二組　南木　和喜》
天は自ら助くる者を助く。人間何歳になっても努力を忘れないことが大切です。

《十三組　笹沼　芳孝》
いつもオレはここに居る！悩んだり、思い出したら会いに来い！

各賞表彰者一覧

《修業式》

一ヶ年皆勤賞
十二組　鶴見　昌平
ほか一二五名

十二ヶ年皆勤賞
六組　永井　和仁

日本私立中学・高等学校連合会会長賞
二組　佐藤裕太郎
五組　赤川　知宏

全国商業高等学校協会理事長賞
十一組　坂本　寛也

宇都宮商工会議所会頭賞
十一組　田上　雄樹

産業教育振興中央会会長賞
十一組　戸田　智也

栃木県産業教育振興会会長賞
十一組　高山　拓弥

全国珠算教育連盟賞

日本珠算連盟賞
十一組　大平　興治

全国商業高等学校協会主催検定試験
一級三種目以上合格者
十一組　山口　拓海

東関東吹奏楽連盟賞
十三組　黒川　恵一

栃木県吹奏楽連盟賞
十三組　吉田　翔
ほか四名

栃木県デジタルアートデザイン展優秀賞
四組　佐原　翔平

日本学生野球協会賞
五組　赤川　知宏

読売栃木スポーツ大賞優秀賞

宇都宮市市民賞

栃木県高校スポーツ優秀選手賞
平成十九年度第四十九回
栃木高校スポーツ賞

平成十九年度財団法人栃木県体育協会スポーツ顕彰賞

栃木県産業協議会表彰

平成十九年度各種大会優勝者等表彰
九組　弓田　倫也

栃木県高等学校体育連盟優秀選手賞
五組　竹原　誠志
ほか十七名

栃木県バスケットボール協会優秀選手賞
五組　近藤　裕樹
ほか二名

古澤育英会奨励賞
六組　太田　英明
八組　仙田　剛大

部活動精励賞
六組　川又　潤也
ほか九名

交通指導員感謝状
四組　佐原　翔平
ほか十四名

校内漢字テスト年間上位者表彰
五組　千代　元気
ほか十名

《卒業式》

三ヶ年皆勤賞
八組　佐藤　祥万
ほか六四名

学校長賞
九組　弓田　倫也

資格検定取得状況（二月十七日現在）

□全商簿記検定□
〈一級〉
坂本　寛也　大関　孝太
桜井　武志　鈴木　章太
山下　恭平

〈会計一級〉
高山　拓弥

〈原価計算一級〉
山下　裕基

〈二級〉
山下　裕基

〈三級〉
牛山　貴史　大塩　啓太
沖杉　徹　白川　大輔
鈴木　久義　高山　大樹
田崎　正一　中川　陽介
野沢　理志　最上　祐也
保田　達也　小林　紫紀

□全商情報処理検定□
〈三級〉
桜井　武志　山下　恭平
山下　裕基　村上　広明
山口　礼　鈴木　章太
高山　大樹　中川　陽介

□全商ワープロ検定□
〈一級〉
田上　雄樹

〈二級〉
勝田　剛史　高山　拓弥
戸田　智也

〈三級〉
桜井　武志　鈴木　章太
山下　恭平　中島　俊貴
岩崎　吉祝　山口　一樹
大塩　啓太　鈴木　和裕
鈴木　久義　中川　陽介
藤田　一樹　保田　達也

□全商珠算検定□
〈一級〉
山口　拓海

□全商商業経済検定□
〈二級〉
山下　恭平　山下　裕基

〈三級〉
大塩　啓太　中川　陽介
最上　祐也　河又　理
田中　慶亮

□全商電卓検定□
〈一級〉
勝田　剛史　高山　拓弥
戸田　智也　山口　拓海
鈴木　章太　坂本　寛也
田上　雄樹

〈普通計算部門一級〉
鈴木　幸樹　山口　一樹
新田　卓哉　大関　孝太
桜井　武志　山下　恭平
山下　裕基　雨宮　涼太
大塩　啓太　沖杉　徹
白川　大輔　須川　史也
鈴木　和裕　鈴木　久義
高山　大樹　田崎　正一
中川　陽介　野沢　理志
藤田　一樹　最上　祐也
森島　駿樹　稲葉　慎

〈普通計算部門二級〉
小林　紫紀

〈普通計算部門三級〉
永山　雄祐

〈ビジネス部門一級〉
藤田　真二

□全商英語検定□
〈二級〉
足立　透

〈三級〉
海賀　健太　久保　達也
隅内　雄介　松本　涼
高橋　哲也　福田　貴紀
吉澤　健太　鈴木　章太
藤田　真二　吉峯　義成
田崎　正一　中川　陽介
保田　達也

□北関東簿記検定□
〈一級〉
桜井　武志　鈴木　章太
山下　恭平

〈原価計算一級〉
大関　孝太　山下　裕基

〈三級〉
雨宮　涼太　大塩　啓太
沖杉　徹　鈴木　久義
中川　陽介　野沢　理志
最上　祐也

□全経簿記検定□
〈三級〉
中川陽介　小林　紫紀

□全経電卓検定□
〈一級〉
梅田　友基　野沢　理志
田崎　正一　中川　陽介

〈三級〉
雨宮　涼太　鈴木　和裕
鶴牧　高虎　奈良田　聡
中嶌　彬　最上　祐也
森島　駿樹　保田　達也
鈴木　久義　津野田佳樹
小林　紫紀

□日本情報処理検定□
〈表計算一級〉
黒川　恵一

〈表計算二級〉
磯　融人　岩崎　吉祝
大平　興治　片山　翔平
亀和田　光　川上　立樹
菊田　成秋　齋藤　祐輔
齋藤　洋佑

〈表計算三級〉
秋元　浩哉　稲葉　玄起
大森　仁貴　大類　佑介
君島　貴大　斉藤　悠貴
介川　勇希　五月女　樹
伴　裕太　フカオ　ダニロ
星野　和成　丸山　貴広
宮田　直人　山野井　優
吉田　翔　五月女賢太
阿久津　翔　小林　大佑
菊地　修　齋藤　一貴
中島　俊貴　青木　貴寛
伊澤　佑記　伊藤　慎吾
小山　佑太　里川　遼太
塩澤　和俊　鈴木　隆夫
鈴木　大也　田村　俊晃
鶴牧　高虎　奈良田　聡
新田　卓哉　野澤　吉志
濱野　修亮　村山　裕人
石川　友行　稲葉　裕太
牛山　貴史　梅田　友基
大垣　裕亮　太田　遼介
神山　良太　古瀧　英
小林　徹也　澤辺　茂樹
柴　貴士　鈴木　裕也
檜山　拓実　藤田　真二
辺見　晋也　北條　尚輝
増田　幸明　村上　晃一
山口　礼　吉峯　義成

〈ワープロ準二級〉
菊田　成秋　齋藤　祐輔
山野井　優

〈ワープロ三級〉
秋元　浩哉　稲葉　玄起
片山　翔平　亀和田　光
君島　貴大　斉藤　悠貴
富田　達也　伴　裕太
星野　和成　青木　貴寛
牛久　敏典　新田　卓哉
小林　紫紀

□実用英語技能検定□
〈準一級〉
佐藤裕太郎

〈二級〉
中島　祥吾　松原　宰栄
橋本　和

〈準二級〉
森　透　仲田　早太
山口　夏生　大坪　翼
加藤　正鷹　平野　展崇
吉村　昌泰　石井　琢馬
新山　周史　横塚　隆宏
木戸　克治　奥岡　諒
広瀬　裕士

〈三級〉
永井　怜　潮田　兼一
森田　有一

□日本漢字能力検定□
〈準二級〉
小藤　光章　逢田　光
奥岡　諒　沼倉　卓

〈三級〉
圓岡　佑太　佐藤　彰紘
大森　邦彦　青木　実成
荒木　克典　小宅　正浩
八島　優輝　山川　拓也

□食物調理技術検定三級□
二十七名

□フォークリフト特別教育修了□
一〇四名

□アーク溶接特別教育修了□
五十五名

□高所作業特別教育修了□
七十一名

□普通救命講習修了□
百四十七名

□乙種第四類危険物取扱者□
二名

輝け!! 文星健児 ～部活動紹介～

今冬行われた県高校新人大会での、本校運動部の活躍をご報告いたします。

バスケットボール部

県大会制す！関東へ！

関東大会の予選を兼ねた県新人大会の決勝リーグが、一月十九、二十日栃木市体育館などで行われた。決勝リーグ最終戦の相手は、本校バスケ部の好敵手である宇都宮工業高校。昨年八月の一年生大会・決勝では本校が勝利したが、十一月の全国高校選抜優勝大会県予選会・決勝での対戦では惜しくも勝ちを譲っていた。

決勝リーグでは、「宇都宮高校」、「作新学院」に快勝して最終戦に臨んだ。今度は負けられない戦いで、本校バスケ部は激戦を制して、三年ぶりの優勝を飾った。

本校 98（29－17、18－26、22－24、29－21）88 宇工

《関東大会結果》

二月九、十日　前橋市

一回戦

本校 90（23－25、14－29、22－25、31－22）101 東海大菅生（東京）

卓球部

シングルスで優勝！

本校卓球部は、十一月十五日から十七日にかけて宇都宮市体育館などで行われた県新人大会兼全国高校選抜卓球大会県予選会に出場。鈴木誠選手（普通科二年）がシングルスを制覇、また和氣裕貴選手（普通科二年）とともにダブルスでは準優勝となり活躍した。

【男子シングルス・決勝】

鈴木　3－0　稲見（本校）（作新）

【男子ダブルス・決勝】

鈴木・和氣 0－3 稲見・松原（本校）（作新）

柔道部

本校柔道部は、十一月十日、十一日に県武道館で行われた県新人大会に出場し、90キロ級で塩沢篤選手（普通科二年）がトーナメントを勝ち上がり、準優勝を果たした。100キロ級では阿久津智洋選手（普通科一年）が第三位を獲得している。

また、一月二十六日に行われた第30回全国高校柔道選手権大会県大会で、男子団体に出場。準決勝で強豪・国学院栃木に敗れるも、三位決定戦で作新学院に勝利し、第三位となった。

本年度、全国の舞台で活躍した本校選手が各種表彰を受けました。

弓田選手 優秀選手賞受賞

本年度の県高校スポーツ界で活躍した団体、個人をたたえる第49回県高校スポーツ賞の表彰式が二月五日に県教育会館で行われた。

同賞は県運動記者クラブ主催で、インターハイなどで活躍した団体や個人に贈られるもの。本校からはインターハイ優勝を果たした陸上競技部ハンマー投げの弓田倫也選手（普通科三年）が高校スポーツ優秀選手賞を受賞した。また、同優秀監督賞として鈴木精一先生が表彰を受けた。

赤川・前主将に表彰

日本学生野球協会は一月十日に今年度の表彰選手を発表し、栃木県からは本校硬式野球部・前主将の赤川知宏選手（普通科三年）が選ばれた。昨夏の全国高校選手権大会で、チームを牽引し、県勢として十年ぶりの三回戦進出を果たしたことが評価された。

また、二月一日には県高校野球連盟の表彰式が日光市で行われ、同じく赤川選手が表彰を受けた。

文星ジョイント・コンサート開催

去る一月十九日、「文星ジョイント・バンド」の定期演奏会が開かれた。また、本校の和太鼓部、そして宇都宮文星女子高校（以下「女子校」）のバトン部・新体操部・合唱部が賛助出演し、コンサートに花を添えた。

「文星ジョイント・バンド」は、本校の音楽部と女子校の吹奏楽部が合同で結成しており、週末にのみ合同練習を行っている。他校に比べ合奏練習時間が短く、練習にも苦労を重ねてきたが、そのマイナス面を補ってあまりある演奏を繰り広げ、聴衆からは大きな拍手が送られた。

激励会

翌日に大学入試センター試験を控えた一月十八日、本校中学棟大会議室にて、毎年恒例の「センター試験受験者激励会」が行われた。

いよいよ入試本番を前にして、緊張の面持ちの英進科・普通科の三年生、五十五名に対し、理事長、学校長を始め、先生方から力強い激励の言葉が贈られた。

また、「合格」のハチマキを締めた二年生が、先輩方の健闘を祈って熱いエールを送った。

三年生は緊張を闘志に変えて、センター試験に臨む意気込みも高まったようだった。大学入試の結果が期待される。

卒業にあたって

学年主任
山本　誠一

三年前の桜の花咲く四月、意気揚々と文星芸術大学附属中学校の正門を第一期生としてくぐり、それから早や三年の年月が過ぎようとしています。この間諸君は、宿泊研修、球技大会、サマーキャンプ、雄飛祭、スキー教室、修学旅行等数々の学校行事を体験し、それらのことが、忘れることの出来ない楽しい思い出として残っているかと思います。また、友人達と共有した時間はかけがえのない財産になっていることでしょう。

さて、卒業していく諸君の中学校生活は本校附属中学校開学と同じくして始まりました。その産声から三年の月日が過ぎ、君達の成長と同じように附属中学校も大きな成長を遂げました。これは決して他の誰かの力ではなく、学校の主役である諸君の努力によるものと考えています。つまり、生徒一人ひとりが、毎年、三年間最高学年の自覚を持ちながら学校を支え、自己実現を目指し、一生懸命の努力を続けたからこそ、本校の成長が成し遂げられたのです。本年度は、三学年が揃い、諸君が築いてきた良い伝統を、後輩達がさらに飛躍させてくれることと思います。

今日の社会は、非常に変化が早く、人間関係が希薄になり、複雑になってきている中で、日々新しいことへ対応する能力が必要となってきています。しかし、この三年間で本校の教育方針である「三敬精神」と「ライオン主義」を体得実践した諸君は、きっと挫けずに苦難を乗り越えられることと信じています。

自分を大切にしなさい。
他人を大切にしなさい。
思いやりのある人で
ありなさい。
事にあたるときは
全力でやりなさい。

諸君のこれからの活躍を心から願っています。

三学年担当教員より

十三人で学校生活を送れるのもあとわずかです。これからは別々の道を歩むことになりますが、この三年間で育んできた絆を忘れることなく、夢実現に向けてチャレンジしてください。

担任　柵山　英樹

「初めてだ！」この、ハジメテという言葉はとても不思議で、聞いたり言われたりすると何だかとても嬉しくなります。皆さんは文星附属中学校の「初めて」の卒業生。これから出会うたくさんの「初めて」の中で、この「初めて」を誇りに巣立ってほしいです。

副担任　安達　可代子

卒業おめでとう。卒業は終わりではなく、新たなスタートです。それぞれが目標を見つけて、新しいことに挑戦してください。私自身も日々挑戦です。お互いに頑張ろう。

副担任　荒井　祐也

三年間の思い出

平成十七年に中学校が開校し、三年が経ちました。今年の春には一期生が卒業し高校へと進学していきます。三年生全員に本校での三年間を振り返ってもらい、作文を書いてもらいました。その中から二点紹介します。

三年一組　石川　侑史

三年前、私は文星中の第一期生として入学しました。今では小さく感じる制服も、当時はぶかぶかだったことを覚えています。

入学してからすぐに、学校の研修センターで宿泊研修が行われました。この行事で、すぐにクラスのメンバーと友情を深めることができました。一年生で一番印象的だった行事は、初めての雄飛祭です。クラスとして「お化け屋敷」をやり、大好評でした。

三年生になり、すべての学年が揃い、晴れて最高学年になることができました。四月には、全学年で「栃木海浜自然の家」で宿泊研修がありました。プールや海釣り、いかだ作り、バーベキューなどをしました。このときの班割りは学年をまたいでの班編成だったので、学年に関係なく友情を深めることができ、とても楽しかったです。五月には、足尾銅山で植樹体験をしました。去年も参加したのですが、足尾銅山がまた緑溢れる山になって欲しいと訪れるたびに思います。その他に英語研修では、イギリスの文化に触れることができ、英語を学んでいく上でいろいろと勉強になりました。

三月には中学生として最後のテストがあります。良い結果になるように頑張りたいと思います。

三年一組　舘野　正樹

僕は中学三年間で印象的だったことが二つあります。まず、一つ目は、高校の野球部が二年連続で甲子園に行ったことです。僕自身が野球をやっているということもあり、甲子園に行って応援できたことは、とても感激しました。特に、関西高校との試合は、今でも目に焼きついています。ぜひ今年も頑張って欲しいです。

二つ目は、雄飛祭です。一・二年とも楽しかったのですが、中学最後の雄飛祭は、とても心に残るものとなりました。それは、僕を含め七人のメンバーで結成した『BUNSEI7』がデビューしたからです。初めは冗談半分で、クラスメイトと盛り上がりダンスや歌の練習をしていたのですが、段々とメンバーが増え、本格的に練習していくようになりました。本番当日は舞台発表があり、とても緊張しましたが、メンバー全員で楽しく踊ることができてよかったです。このことは、とても貴重な経験になりました。

四月には高校生になります。今までの生活をしっかりと見つめ直し、勉強とスポーツのどちらとも気を抜かずに精一杯取り組んでいきたいと思います。

BUNSEI7のステージ発表

各賞・表彰者一覧

税に関する標語

〈宇都宮税務署長賞〉

「税金が
住み良い未来を
作りだす」

一年一組　岡崎　響

宇河地区英語スピーチコンテスト

〈優良賞〉

一年一組　岡崎　響
二年二組　山中　諒佑
三年三組　大出　真央

花と緑の教育美術展

〈学校奨励賞〉

文星芸術大学附属中学校

〈佳作〉

大出　真央　三年
勝城　和人　三年
小荷田繁之　三年
清水慎之介　三年
鈴木　浩平　三年
長岡　有紀　三年
佐藤　楓　二年
鈴木　亮平　二年
溝口　陽裕　二年
山中　諒佑　二年
石井　健太　一年
岡崎　響　一年

各種検定取得状況（二月十七日現在）

日本漢字能力検定

〈二級〉

大出　真央　三年

〈準二級〉

鈴木　浩平　三年
舘野　正樹　三年
長岡　有紀　三年

〈三級〉

石川　侑史　三年
竹原　秀明　三年
小倉一富史　二年
鈴木　亮平　二年

〈四級〉

押久保賢一　二年
高山　明大　二年
船越　貴裕　二年
山中　諒佑　二年
山根聡太郎　二年
山崎　雅文　一年

〈五級〉

齋藤世莉亜　三年
枝　靖之　二年
菊池　直人　二年
佐藤　楓　二年
石井　健太　一年
石川　康介　一年
岡崎　響　一年
小沼　佑耶　一年
高木　駿　一年
永井　裕　一年
長谷川　潤　一年
村上　大河　一年

実用英語技能検定

〈三級　一次試験合格〉

小倉一富史　二年
川喜田竜平　二年
鈴木　亮平　二年
溝口　陽裕　二年

〈四級〉

乾　元　二年
齊藤　大輔　二年
坂村　慶太郎　二年
福山　尚人　二年
船越　貴裕　二年
山根聡太郎　二年
湯沢　祥　二年
石川　康介　一年
小森　信之　一年
森下　雅俊　一年
山崎　雅文　一年

〈五級〉

石井　健太　一年
岡崎　響　一年
高木　駿　一年
綱川　倫宇　一年
村上　大河　一年
六角　秀明　一年

また、三月七日（金）に一・二年生を対象に実用数学技能検定が行われます。このように、中学生も各種検定の取得に日々努力しています。

第二期生徒会発足

生徒会長に就任して

二年一組　岡本　源二郎

私は一年生のときに生徒会書記を経験し、二年生の後半からは第二期生徒会長に就任しました。生徒会長として、「雄飛祭」や「スポーツフェスティバル」などこれまでの行事をさらに良いものにできるように、意欲的に取り組みたいと思っています。また、あいさつ運動など新しいことにもチャレンジしていきたいと思います。中学校を自分たちの手でよりよい学校に作り上げていきたいです。

生徒会役員

生徒会長　二年　岡本源二郎
副会長　二年　鈴木　亮平
副会長　一年　石井　健太
会　計　二年　川喜田竜平
書　記　一年　森下　雅俊

新生徒会役員
左から、森下、石井、岡本
鈴木、川喜田

部活動状況

九月二十八日（金）から三十日（日）にかけて、中体連新人大会宇河地区予選が行われました。三年生が引退し、新チームがスタートしてから初めての公式戦で、バスケットボール部とソフトテニス部が出場しました。それぞれの結果を報告します。

《バスケットボール》

一回戦

本校　27　－　63　清原

《ソフトテニス》

団体戦

一回戦

本校　0　－　3　陽東

個人戦

一回戦

湯沢・若井田組　0
対
城山中　3

岡本・山根組　2
対
一条中　3

福山・枝組　0
対
姿川中　3

綱川・見坐地組　0
対
若松原中　3

以上のような結果でした。

また、バスケットボール部は十二月九日（日）に行われた、宇都宮市バスケットボール協会長杯争奪大会に参加し、悲願の一勝を上げることができました。結果は次の通りです。

〈Yリーグ〉

本校　18　－　108　一条
本校　49　－　18　豊郷
本校　14　－　72　横川

※一勝二敗で予選敗退

今後とも、ご協力のほどよろしくお願いします。

ハイキング

十一月二日（金）に、日光の中禅寺湖畔にある「半月山」へとハイキングに行きました。茶ノ木平から半月山への尾根道、中禅寺湖や男体山などを見ながら辿る、比較的ゆったりした全行程約六キロ、所要時間約三時間のコースです。

当日は、朝のうちは天候もよく、ハイキング日和でした。しかし、昼食をとる頃には天候が変わり始め、視界が悪化し、気温も下がってきたために途中で下山せざるをえない状況でした。生徒は最後まで歩けなかったので、残念そうな様子でした。集団で自然の中を散策することで、団体行動の大切さと自然環境の素晴らしさ、また厳しさを経験できるよい機会になったのではないかと思います。

山道を散策しました。

芸術体験

十一月二十九日（木）に、系列校である文星芸術大学において、大学の施設や設備を利用し、芸術体験が行われました。

一年生は「陶芸」を行い、陶芸専攻の林香君先生が指導してくださいました。一人ひとりが、ロクロを使い、皿や湯のみなど、各自が作ってみたいものを制作しました。後日、焼きあがった作品が届き、よい記念になりました。

陶芸の様子

二年生は「染織」を行い、染織専攻の岡本泰子先生の指導のもと、バックの藍染めをしました。中には、腕まで染めてしまう生徒もいて、二、三日の間、腕も藍染めしたかのように青くなっていました。

染織の様子

三年生は「マンガの描き方」の講習を受けました。千葉修平先生のご指導の下、ペンの使い方や線の描き方などを学び、実際のマンガをなぞる作業をしました。なかなかうまく描けずに悪戦苦闘していました。途中には、ちばてつや先生も様子を見にいらっしゃり、ご指導いただきました。

ちばてつや先生にもご指導いただきました。

スキー教室
～福島県 リステル猪苗代～

新学期が始まり、一月九日(水)から十一日(金)にかけて、一・二年生を対象にスキー教室が実施されました。三日間とも天候に恵まれ、生徒たちにとって非常に有意義な行事になったのではないかと思います。

生徒の感想文を紹介したいと思います。

スキー教室に参加して

一年一組　長谷川　潤

僕は、スキーは今回が初めてで、スキー場に行くことすら初めてでした。なので、スキーに行く前からとても楽しみにしていました。

ホテルに到着し、部屋に入るとスキーウェアが置いてありました。スキーウェアは意外にも薄くて、寒くないかと心配になりました。

到着後すぐにレッスンが始まりました。インストラクターの方は、ちょっと厳しかったけれど、その分一生懸命に取り組むことができました。心配していたスキーウェアは、スキーが始まると寒さを感じる余裕もなく、終わりの頃には汗ばむくらいでした。

二日目は二回レッスンがあり、長い時間滑っていてとても疲れました。天候にも恵まれて、とても充実した一日で、もっとスキーをしていたいと思いました。

三日目は、閉会式があり、もう滑れないと思うとなんだか物足りない感じがしました。スキー場では元気だったのですが、帰りのバスでは疲れがたまっていたのか、ぐっすり寝てしまいました。

このスキー教室を通して僕はスキーが大好きになりました。また、機会があったらぜひスキーをやりたいです。そして、山の頂上に行って綺麗に滑って降りてこられるようになりたいで

ゲレンデで集合写真

立志式

二月十五日(金)に中学棟において、二年生を対象として立志式が行われました。立志式は、これまでの成長とこれからの未来を祝福する意味を込め、将来の希望や目標に向かって前向きに取り組もうという決意を新たにする行事です。学校長をはじめ、理事長、PTA会長など多くの方からお祝いの言葉をいただきました。また、生徒代表として二年一組の福山尚人君が、立志式を節目とし、将来に向けて決意を述べました。

立志式記念講演として、本校の卒業生である鈴木克彦様に記念講演をしていただきました。

これを機会に、生徒一人ひとりの意識が大人に近づくことを期待しています。

決意の言葉

学校行事

秀文杯校内体育大会

雄飛祭

予餞会

東京ダイナマイト　上々軍団